

第32回 安全衛生基礎講座



6月13日と20日、大阪労働健康安全センターは第32回安全衛生基礎講座を開催しました。「話を聞いて、働きやすい環境を作ろうと思った」「事例をもとに労災申請の流れやポイントが説明されたので、わかりやすかった」などの感想が寄せられました。

人事院近畿事務局へ 賃上げを要請



6月22日、大阪労連は2026年人事院勧告に向けて人事院近畿事務局へ要請を行いました。「人事院勧告が民間や中小企業の賃上げの指標になる勧告にして欲しい」と訴え、多くの民間単産・地域の仲間が参加しました。

核兵器のない平和な世界を！ 国民平和大行進



大阪では、6月24日から平和行進が始まりました。府内各地で「核兵器のない平和な世界を」「国は核兵器禁止条約の批准を」「ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ」と沿道にアピールしながら行進し、7月7日には兵庫へ平和の願いのバトンを渡しました。

平和のためのせんそうてん 2026東大阪



7月26日、東大阪市で「子どもたちに平和な未来を手わたそう」をテーマに戦争展が開催され、多くの市民の方が参加しました。参加者からは、「戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて実感した」など感想が寄せられています。

ろーれんフラッシュユ



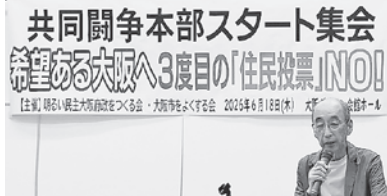
緊急宣伝

明るい会と大阪市をよくする会は、「共同闘争本部」を立ち上げ、6月18日にスタート集会を開催し、「希望ある大阪へ、3度目の『住民投票』NO!」を合言葉に運動を進めていくことを確認しました。

集会で、共同闘争本部事務局長の大原真さんが、「都構想住民投票の危険な内容や自治体本来の役割について学びを深めよう」「府民アンケートやシールボードなどを活用し、宣伝・対話を広げよう」「新しい連帯と共同を広げ、制度いじりではなく、暮らしと営業を守る大阪を実現しよう」と呼びかけました。

7月10日、共同闘争本部は南森町交差点で緊急宣伝を行いました。それぞれの弁士から「大阪市の

存続は、2度の住民投票で市民が決めた。維新が3度目の住民投票で狙うのは、大阪市を廃止し、その豊かな税収を巨大大開発に振り向けること。それは市民の民意に反する」「物価高騰に苦しむ市民や中小企業の暮らし・営業を支えることこそ大阪府・大阪市の役割。住民投票に突き進む維新政治ではなく、住民福祉を最優先にする大阪府・大阪市を実現しよう」などと市民に力強く訴えました。



共同本部・スタート集会

希望ある大阪へ

3度目の住民投票NO!



▲全労連・竹下事務局次長
◀グループ討論

大阪労連は、8月1日大阪市内で組織集会を開催しました。冒頭、福岡議長はあいさつで、職場や地域で仲間を増やし、職場要求の実現だけでなく悪政に対峙していく労働組合の役割を発揮していくと呼びかけました。続いて行われた記念講演では、全労連の竹下武事務局次長から「対話と学びあい、仲間を増やす実践から学んだこと」と題し、全国の経験が語られました。竹下さんは、組織拡大や組織強化で、初めからうまくいっている組織はほとんどなく、いろいろなチャレンジを通じて対話と学びあいを広げる中で仲間を増やしてきたと語り、みなさんの職場や地域でも対話と学びあいを実践して欲しいと強調しました。その後、参加者は、少人数に分かれグループ討論を行い、組織強化・拡大について交流しました。

午後からは、今年度2回目の「対話と学びあい実践講座」を行いました。大阪府職労の小松委員長をファシリテーターに、「コーチング」について実践を交え参加者で交流を行いました。参加者からは「話をする、口にするのが大切と感じた」「コーチングで、聴く姿勢が大切だと感じたい」などの感想が寄せられました。

憲法を守れ！ 戦争する国づくり STOP!



東大阪・七夕宣伝

悪法を次々と強行する高市政権に対して、「戦争反対」「改憲反対」「高市総理は憲法守れ」と地域や職場で憲法宣伝などがとりくまれています。

7月7日、憲法をまもる東大阪の会は近鉄長瀬駅前で「七夕憲法宣伝」を行いました。

「戦争をやめて対話で平和な世界を」など短冊に願いを書いて笹に飾ってくれました。

7月24日、大東共同センターは住道駅前で「NO WAR! 9条守る！市民とともに共同アクション」にとりくみました。「戦争する国づくりSTOP!」「9条守れ!」などプラカードを掲げながら、駅利用者に平和の大切さと憲法9条を守る意義を訴えました。

先生たちが多忙を極める学校現場でも、9条改憲反対署名を広げるために工夫を重ねています。ある学校では、職員室で署名用紙を回覧して協力を呼びかけています。その職場の組合員が自分の「平和を大切にしたい、



大東共同センター宣伝

を行いました。笹を用意し、短冊への記入を呼びかけました。平和の大切さと憲法9条を守る意義を訴えました。

先生たちが多忙を極める学校現場でも、9条改憲反対署名を広げるために工夫を重ねています。ある学校では、職員室で署名用紙を回覧して協力を呼びかけています。その職場の組合員が自分の「平和を大切にしたい、

国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



職場の声を集めて 運動を前進させよう！

6月14日、大阪労連と大阪春闘共同委員会は2026年春闘交流集会を開催しました。福岡代表委員（大阪府連議長）は開会あいさつで、「26春闘は加重平均



特別報告

2026年 春闘交流集会

1万2111円・3・23%（第7回集計）と前年を上回る成果を実現したが、物価高騰で実質賃金は依然マイナス。最低賃金の大幅引き上げや均等待遇の実現へ、引き続き団結してたたかおう」と呼びかけました。特別報告では、医労連・自治労連・JMITU・北河内地区協・福保労の5組織から、物



グループ討論

人数に分かれてグループ討論を行いました。参加者からは「各産別の課題やとりくみが参考になった」「春闘の課題や時期の違いも知ることが出来た」などの感想が寄せられました。

引き続き、秋季年末闘争勝利に向けて職場で運動を進めていきます。

共同をひろげよう！

憲法を変えてはいけない」という思いをつづった手書きのメモを添えています。忙しくて直接対話で呼びかける時間がなくても、メモを読んだほかの先生に共感を広げて署名をたくさん集めようと工夫しています。また、別の学校では、教育条件をよくする署名など様々な署名がある中で、一度に全部の署名を回覧するのではなく、改憲反対署名を回したら、数日開けて別の署名を回すように工夫しています。